



アマモの植栽(移植)作業

(特非) 環境生態工学研究所

東日本大震災で消滅した 松島湾の藻場再生活動

復興支援助成

2年目

調査研究

アマモ場の修復600mを
目指すためのアマモ移植

500本

アマモ場の生育状況調査
及び藻場内の生態系調査

5回

活動の全体目標に
対する達成度

80%

課題

震災津波で壊滅的な被害を受けた松島湾のアマモ場の再生を図ることで生態系を復活させ、基幹産業である水産業や観光業の復興と持続利用可能な地域社会の創造を目指す。

活動内容

- 1) 震災以後の藻場分布の変遷調査及び環境・生態系調査(学術的活動)
- 2) アマモ場造成活動(藻場再生実践活動)
- 3) 学習会、セミナーなど(広報活動)

関係者、一般市民、会員を対象とした状況報告については、頻度を増やすことで昨年度よりも多くの参加者が集まった。また、震災前の自生環境でありながら活着できなかった海域において、わずかながら生育を成功できたことは大きな成果であると思う。



工夫により活着に成功した
アマモ移植株

今後の課題

工夫した手法により、自然回復が見られない海域(漁業者に回復が強く望まれている)においてもわずかながら個体を活着させることができたが、手間とコストは計画以上に発生しており、さらなる手法の検討が必要である。

成果と工夫した ポイント



成果

アマモの移植数は予定以上を行っているが成果が現れず、様々な増殖法を工夫している。その経過を会員及び関係者に報告する機会を設けることで関心を得ることができ、延べ参加者数は昨年度よりも増えている。

工夫

昨年度と本年度の春季植栽分は確認できなくなったため、植栽の時期や手法など計画外の補正作業を行っている。